

## 開催実施要項

- 1 大会名 令和2年度福岡県高等学校弓道競技新人大会筑豊ブロック予選会  
兼 全九州高等学校弓道新人選手権大会筑豊ブロック予選会
- 2 主催 福岡県高等学校体育連盟、福岡県教育委員会
- 3 後援 福岡県弓道連盟
- 4 主管 福岡県高等学校体育連盟筑豊ブロック弓道専門部
- 5 期日 令和2年10月11日(日) 10:00～ ※開・閉会式は実施しません。
- 6 会場 福智町弓道場  
〒822-1201  
福岡県田川郡福智町金田1185  
TEL (0947) 22-2200
- 7 競技規則 「全国高等学校体育連盟 弓道競技規則」による。
- 8 競技方法
  - (1) 学校対抗とする。
  - (2) 団体戦は男女別とし、立射による4本矢2立の計8射、団体40射の総合的中制とする。
  - (3) 同中の場合は各自1本、チーム5本の競射とする。
  - (4) 個人戦は4本矢2立計8射の的中数により、順位を決定する。
  - (5) 同中の場合優勝決定は射詰め、他は遠近法により競射を行う。
  - (6) 団体戦出場の選手は、団体戦の成績をもって個人戦の成績にあてる。
  - (7) 標的は36cm霞的、射程28mとする。
  - (8) 競技進行について
    - ①本座に控え進行係の「始め」の合図までに集合しない場合は、その立に限り、その選手は棄権とする。
    - ②1チームの行射時間は6分30秒以内とする。時間を過ぎても失格とはしないが、注意を促す。
    - ③矢の引き過ぎなど危険な状態が予想される時は、射直しまたは行射中止とすることがある。
  - (9) 選手交代について
    - ①選手の交代は申込書記載の登録選手以外は認めない。
    - ②選手交代は、男女団体それぞれ4回までとする。ただし、登録された正選手間の立順の変更はできない。
    - ③監督会議の際、補欠に交代した選手は以後補欠とみなし、個人戦に出場することができる。
    - ④競技開始後に補欠と交代した選手は、以後出場できず、個人戦に回ることもできない。
- 9 引率・監督について
  - (1) 引率責任者は、団体の場合は校長が認める当該校の副校長、教頭、主幹教諭、指導教諭、教諭、助教諭、実習助手、常勤講師、部活動指導員(地方公務員法第22条の2に示された者)又は校長とする。個人の場合は校長が認める当該校又は他の学校の副校長、教頭、主幹教諭、指導教諭、教諭、助教諭、実習助手、常勤講師、部活動指導員(地方公務員法第22条の2に示された者)又は校長とする。
  - (2) 監督、コーチ等は校長が認める指導者とし、それが外部指導者の場合は傷害・賠償責任保険(スポーツ安全保険等)に必ず加入することを条件とする。
- 10 参加資格
  - (1) 選手は、学校教育法第1条に規定する高等学校(中等教育学校後期課程を含む)に在籍する生徒であること。
  - (2) 選手は、本連盟加盟校の生徒で、本開催要項により参加の資格を得た者であること。
  - (3) 全日本弓道連盟に登録された者であること。
  - (4) 年齢は、2002年(平成14年)4月2日以降に生まれた者とする。ただし、出場は同一競技2回までとし、同一学年での出場は1回限りとする。
  - (5) チームの編成は、全日制課程・定時制課程・通信制課程の生徒の混成を認めない。
  - (6) 統廃合の対象となる学校については、当該校を含む合同チームによる大会参加を認める。
  - (7) 転校・転籍後6ヶ月未満の者の参加は認めない。(外国人留学生もこれに準ずる)。ただし、一家転住等のやむを得ない事由による場合は、弓道専門委員会で調査し、高体連会長の承認があればこの限りでない。
  - (8) 出場する選手は、あらかじめ健康診断を受け、在学する学校長の承認を必要とする。

(9) その他の事項については、全国高等学校体育連盟、九州高等学校体育連盟大会開催基準要項の参加資格に準ずる。

(10) 参加資格の特例

- ア. 上記(1)(2)に定める生徒以外(3)～(9)の大会参加資格を満たし、且つ本連盟が承認した生徒を、別途に定める規定に従い大会参加を認める。
- イ. 上記(4)のただし書きについては、学年の区分を設けない課程に在籍する生徒の出場は、同一競技2回限りとする。
- ウ. 学年の区分を設けてある課程に在籍する生徒の出場は、2学年までとする。

11 参加制限

- (1) 1チーム選手5名とし、補欠は2名までとする。
- (2) 各校の出場団体チームは、男女合わせて4チーム以内とする。
- (3) 団体戦補欠選手は同時に個人戦に登録することができる。
- (4) 個人戦は、男女それぞれ4人まで登録できる(団体戦補欠選手で、個人戦に登録した選手を含む)。
- (5) 大会参加にあたっては、以下の項目を遵守すること。
  - ア 大会当日は各自必ず検温を行うこと。計測した体温を別紙チェックリスト【別添2】に他の質問事項への回答とともに記入の上、来場すること。チェックリストは、引率責任者が毎日来場の際に受付へ提出すること。また、発熱がある場合やチェックリストに×印がひとつでもつく場合、当人は来場することはできない。
  - イ マスクを持参し、競技中以外は必ず着用すること。(競技中の着用は妨げない。)
  - ウ こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒を実施すること。
  - エ 他の参加者、競技役員・補助員等との距離(できるだけ2m以上)を確保すること。
  - オ 会場では大きな声で会話、応援等を行わないこと。
  - カ 感染防止のために主催者が決めたその他の措置の遵守、主催者の指示に従うこと。
  - キ 大会終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、主催者に対して速やかに濃厚接触者の有無等について報告すること。

12 参加申込

- (1) 高体連の参加申込みに記載される生徒個人情報について  
利用目的等 ・大会競技プログラムまたは福岡県高等学校体育連盟ホームページへの記載  
・参加資格の確認(年齢・転校等)  
・競技成績については学校名・氏名・成績(記録)のみ公表する事とする  
参加申込書の提出により、申込書記載の生徒の個人情報は、上記利用目的に使用する旨の承諾を得たものとする
- (2) 申込先 〒826-0023 田川市上本町7-11

西田川高等学校 田端 真子 先生

(E-mail) [tabata-m@fku.ed.jp](mailto:tabata-m@fku.ed.jp)  
(TEL) 0947-44-0313  
(FAX) 0947-46-0451

- (3) 申込期日 令和2年10月6日(火)までにFAXとメールの両方上記宛に申し込むこと。

13 表彰

第3位までを入賞とし、団体・個人ともに第3位までに賞状を授与する。

14 取得制限

男女とも団体上位4校は県大会にブロック代表として出場できる。  
個人は、男子8射5中、女子8射4中以上の成績を収めた者は県大会に出場できる。

15 その他

- (1) 弓道衣(白)、袴(紺または黒の無地)、白足袋、ゼッケン着用のこと。なお、学校指定の制服(下衣)、白シャツ(無地)、白靴下着用もよい。チームは揃えること。
- (2) リボン禁止。髪を結ぶときはゴムひもで(マスコット類はつけてはならない。)
- (3) はちまきを使用する場合は無地とし、長さは肩までとする。
- (4) 弓道衣の襟元からはみ出すハイネックのアンダーシャツ等は着用禁止とする。
- (5) 弓具に照準や目印をつけてはならない。
- (6) 監督責任者のいない学校は、出場を認めない。
- (7) 矢付けは原則として行わない。
- (8) 監督会議を試合当日9時00分より大会会場に於いて行う。

- (9) ゴミは必ず持ち帰ること。  
(10) 試合中の応援および保護者の参観は禁止（無観客試合）とする。

16 新型コロナウイルス感染症に関する対応について  
別紙「大会開催にあたっての注意事項」を出場選手全員に配布すること（同意書の提出が必要）。

17 問合せ先 鞍手高等学校 村井 哲也（筑豊ブロック弓道専門委員長）  
住所 〒822-0034 直方市山部810-7  
TEL 0949-22-0369 FAX 0949-22-0370

新型コロナウイルス感染症 感染予防  
弓道大会開催にあたっての注意事項

1 大会全般について

- (1) 開会式・閉会式は行わず、入賞者の表彰式のみとする。  
優勝杯等については、前年度優勝校が競技開始前に事前に本部へ返還すること。
- (2) 大会に参加できるのは監督・引率責任者・選手（登録選手）・競技役員（審判）・競技補助役員のみとし、選手以外の生徒、監督・引率責任者以外の教職員、保護者、卒業生等は来場できない。（全日程、全試合とも無観客試合とする）。
- (3) すべての大会参加者はマスクを着用し、事前に検温・健康チェック等をすませておくこと。
- (4) 入場者に対して受付で検温を行い、発熱等の症状が見られる場合には入場を制限する場合もある。

2 大会参加について

- (1) 引率責任者は、大会期間全ての日程においてチェックリスト（別添2）を競技開始前に受付へ提出すること。チェックリストに×印がひとつでもつく場合は大会に参加することができない。  
なお、専門委員長は大会運営に支障がある場合にはその結果を各ブロック理事長に報告する。  
（県大会の場合は理事長に報告する）
- (2) 当日、生徒に発熱等の風邪の症状がみられる場合の対応
  - ア 発熱等の症状がみられる場合、大会出場を認めない。（各学校で指示しておくこと。）
  - イ 当日、急に症状が出た場合は、保護者及び各学校管理職に連絡し帰宅させる。  
※その後、コロナウイルスに感染したことが確認された場合は各学校や行政機関指示に従うこと。その経過等については、ブロック理事長（県大会の場合は理事長）を通じて高体連に報告すること。県教育委員会と合議のうえ、その後の大会運営について中止、または延期をお願いすることがある。
- (3) その他の注意喚起について
  - ア 十分な距離（ソーシャルディスタンス）の確保を行う。
  - イ 弓具およびタオルの共用を避けること。
  - ウ 飲食については、所定の控え場所以外で行わず、周囲の人と距離をとり対面を避けて飲食を行うこと。また、飲食中の会話や飲み回しなどの飲食物の共有を控えること。また、飲食に伴うゴミ等については各自で持ち帰ること。（会場内のゴミ箱は使用禁止とする。※自動販売機横のゴミ箱等も含めて）

3 大会参加申込について

- (1) 顧問は必ず、選手及び保護者から大会参加の同意書（別添3）を取り、校長責任のもと申し込みを行うこと。同意書は各学校で保管すること。
- (2) 大会参加を強要することがないように配慮すること。

4 競技会場について

- (1) 第3控を準備しない。（射場内の第1控および射場外の第2控のみとする。）  
また、控えの椅子の間隔についても十分な距離を確保し、チームごとの間隔も空けて控えを準備する。
- (2) 射場内に設置してある窓・扉などについては開けたままにする。空気の流れが悪いようであれば、送風機を併用するなど換気に配慮する。

5 競技について

- (1) 原則として、射手の間隔1.8m以上確保する。ただし、射場の構造上2m確保できない場合は、射手の間隔を1.6m以上あけるものとする。
- (2) 選手は第2控まではマスクを着用する。入場前にマスクを外してから行射する。ただし、マス

クを外した後については発声を行わないこと。また、射場を退場した後はマスクを着用すること。

- (3) 原則として、入場口と退場口については別とする。ただし、射場の構造上、退場する選手と入場する選手が交錯する場合は、前立の退場が終わってから入場をする。
- (4) 発声による応援は行わない。ただし、拍手での応援は認める。  
(本大会に限り手拍子での応援も認める。)

## 6 競技運営・審判等について

- (1) 審判は業務に当たる際、マスクおよびマウスシールド、手袋等を着用し審判業務を行うものとする（マウスシールド・手袋等については運営にて準備する）。
- (2) 補助役員については手袋等を着用し業務に当たる。
- (3) 競技役員へのお弁当・飲料の配布等を行わない（食料費として別途支給する）。

## 7 競技会場以外の大会会場について

### (1) 観客席について

- ア 座席がある場合は1席ごとに×印等の目印をつけて利用させない。また、立って応援を行う場合については、応援者の間隔を1m以上あけて応援するよう指示する。
- イ マスクの着用を必須とし、必要最小限の会話以外を行わない。
- ウ 観客席が狭く、上記の対応を行っても密を防ぐことが困難である場合には、観客席を封鎖する等の措置を講じる。

### (2) 更衣室について

- ア 広さにはゆとりを持たせ、他の参加者と密になることを避ける。ゆとりを持たせることが難しい場合は、一度に入室する参加者の数を制限する等の措置を講じる。また、可能な限り事前に更衣をすませて参加したり、競技終了後は更衣をせずに帰宅させる等の依頼をする。
- イ 室内またはスペース内で複数の参加者が触れると考えられる場所（ドアノブ、ロッカーの取手等）についてはこまめに消毒する。
- ウ 換気扇を常に回す、換気用の窓を開けるなど十分な換気を行う。

### (3) 選手控えについて

- ア 地区ごとに利用場所を指定し、分散して控えを取るよう指示する。また、控え場所を多く確保し、三密を回避する。
- イ 控え場所にアルコール消毒液を設置し、定期的な消毒をうながす。

### (4) 手洗い場・トイレ等について

- ア 手洗い場にはハンドソープを準備し、こまめな手洗いを掲示物等で喚起をうながす。
- イ 手洗い場等には共用のタオルを設置しない。参加者へ手洗い後に手を拭くためのタオルの持参をうながす。また、手指を乾燥させる設備等については使用しないようにする。
- ウ トイレ内の複数の参加者が触れると考えられる場所（ドアノブ、水洗トイレのレバー等）については、こまめに消毒する。
- エ トイレの蓋がある場合については、蓋を閉めて汚物を流すように指示する。

### (5) 救護室について

- ア 緊急対応用の救護室を1室以上確保する。感染が疑わしい者についてはすぐに隔離し、他の参加者と触がないようにするとともに、すぐに帰宅させる。

## 新人大会参加にかかるチェックリスト

- ・引率責任者は全参加者についてチェックの上、本用紙を大会当日受付まで提出してください。
- ・大会参加者は全員必ず毎日検温をし、記録をしてください。
- ・このチェックリストは大会期間中、毎日提出をお願いします。

学 校 名	
競技種別（○を記入）	男子団体・女子団体・男子個人・女子個人
引 率 責 任 者	
緊急連絡先(携帯電話番号)	

				質問項目(○・×で記入)							
	氏名	年齢	当日朝 の体温	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧
監督			°C								
引率			°C								
1			°C								
2			°C								
3			°C								
4			°C								
5			°C								
6			°C								
7			°C								

質問項目（回答は上の欄に○・×で記入してください）

① 平熱を超える発熱（おおむね37度5分以上）がない。
② 咳（せき）、のどの痛みなど風邪の症状がない。
③ だるさ（倦怠（けんたい）感）、息苦しさ（呼吸困難）等の症状がない。
④ 嗅覚や味覚の異常がない。
⑤ 体が重く感じる、疲れやすい等の症状がない。
⑥ 新型コロナウイルス感染症陽性とされた者との濃厚接触がない。
⑦ 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいない。
⑧ 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がない。

※用紙についてはコピー等を行い必要枚数を各学校でご準備ください。

【別添3】

# 同意書

新型コロナウイルス感染症に関する注意事項（別紙）を遵守し、感染拡大防止に努め、令和2年度福岡県高等学校弓道競技新人大会筑豊ブロック予選大会及び福岡県大会出場に同意いたします。

また、感染の疑いが認められる場合には参加を辞退します。

令和2年 月 日

学校長 殿

部活動名 弓道部

氏名

保護者氏名 印

電話番号